

議会風景



▶ 令和 7 年 6 月 一般質問



▶ 同左



▶ 令和 7 年 7 月 都市交通委員会

海外移住と文化の交流センターについて

質問のポイント

- ☑ 「海外移住と文化の交流センター」は、2008 年ブラジル移住 100 周年に合わせて工事が着工され、翌年にリニューアルオープンした
- ☑ 元々は 1928 年に「国立移民収容所」として開設され、ブラジルなど中南米諸国への移住のための出国手続きや健康診断、語学研修など移住前の準備を行う施設であり、延べ 25 万人がここに滞在し移住していった。
- ☑ 今後の施設の保存および活用についてどうしていくのか。

○ いさやまの意見：今年日本とブラジルが外交関係を樹立して 130 周年にあたり、秋篠宮の次女佳子さまが、6月4日から 17 日の日程でブラジルを公式訪問されました。事前に同センター内にある「移住ミュージアム」にて、日本のブラジル移住の歴史などを学ばれるなど南米移住に関して日本で現存する唯一の施設としても大切と考えます。センターの機能として、移住ミュージアム事業、在住外国人支援事業、



国際芸術交流事業の三つの柱からなり、指定管理の共同体はそれぞれ特徴を有する団体に構成されています。

ゆかりのあるブラジルにちなんだイベントを開催し、「海外移住と文化の交流センター」の周知と訪問機会を増やすべきと考えます。市内の喫茶店等に協力してもらい、センター1階のカフェスペースを有効活用すること、修学旅行の行先として積極的に PR する等、経済観光局との連携を提案しました。

またセンターには「芸術を活かした創生の広場」があり、「C.A.P. (NPO芸術と計画会議)」を中心として芸術家たちが集まり様々な活動が行われています。北野エリアに点在する「Artist in Residence KOBE」、神戸北野美術館、プロジェクト「KITANO THE MAGNET」などのアーティストが活躍する拠点との連携を密にする取り組みを、神戸市としても支援・協力するべきと考えます。

神戸港開港以来の国際都市として継続し、神戸空港が国際化した本市において、この施設があることに誇りを持ち、光をあて維持するために、施設においても収益化できる仕組みを、今後構築して欲しいと考えます。

積極的な視察活動を継続しています！

神戸市西区にある兵庫県盲導犬協会へ視察に行き、盲導犬1頭あたりの育成費用の工面や育成期間などのお話をお聞きしました。

全国で 768 頭、兵庫県で 28 頭いますが諸事情により減少傾向だそうです。

ICT を活用して道案内を行う方法含め、多岐にわたる政策を調査していきます。



★ 定期的に市政報告会を開催しています。電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通 2-2-8 まどかビル 2 階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail: info@isayama-daisuke.jp

討議資料